

日曜日礼拝順序

2017年2月26日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	15 詩篇51篇	
賛美歌	1 “かみのちからを	とこよにたたえん”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹寛子姉
	マタイの福音書5章43-48節	
賛美歌	87B “めぐみのひかりは	わがゆきなやむ”
説教	“神の愛とは”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	380 “たてよいざたて	主のつわもの”
献金		下竹祐三郎兄
報告		
頌栄		
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“種をまく意味”

“種まきは御言をまくのである。” (マルコによる福音書4章14節)

知り合いからいただいた植木の鉢が、だんだん葉が小さくなり、とうとう枯れてしまい、残念に思っていました。しかし、それは寒くなると自然に枯れるもので、種をまけばまた芽が出てくると知り合いから聞いてほっとした次第です。小さな種ですが、植木鉢の土に落ちたので、春が来て芽が出るのを楽しみにしています。

聖書の中で、主イエスは福音を伝えることを種まきに例えて教えられています。当時の農業に携わっていた人たちには、その意味がよく理解できたのではないのでしょうか。種はまいてすぐに芽がでるわけではなく、条件としては良い土にまかれたとき、時に応じて芽がでてくるのです。私たちは、相手の反応に戸惑わされて、時には福音を伝えることに意味を感じないことがあるかもしれません。しかし、芽を出すかださないか、すなわち相手が信じるかどうかは、私たちにかかっているのではなく、その土地の在り方、すなわち相手の心の在り方にかかっているものであって、私たちの責任は、どのような環境にあっても、継続して伝え続けるところにあるようです。主イエスが示された良い知らせを伝え続けましょう。そうすれば、時に応じて、良い地に落ちた種が、何十倍もの多くの実を結ぶように、福音が広がっていく結果を見ると主イエスは弟子たちに教えられました。(Scroggins 由紀)

## 記事: 消息

—陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Kate Whitmore 姉、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

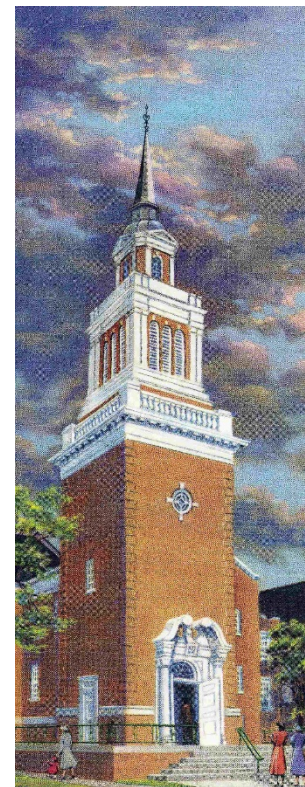
—2月19日の説教は“世に勝つ者”と題して、ヨハネの第一の手紙5章3-5節からでした。ヨハネは、キリストを信じる者は、信仰により世に勝つことができる、と教えています。世の力とは、神の知恵に対抗する価値観、哲学、主義などの事ですが、ご聖霊のお力はそれに打ち勝つものです。混迷した世の中であって、私たちが信仰により、世に勝つものとなれますように。

—2月19日は礼拝後、日本語部有志が Day of Remembrance に参加しました。通常の倍以上の人出があり、人権への関心の高まりを物語っているように。2本の映画のほかに詩の朗読もあり、その後のパネルディスカッションにより、製作者たちの話も聞くことができた有意義な時間でした。

## お知らせ

—Pastor David によるバプテスト派の成り立ちについての講義が前回に引き続き、本日、12時30分より Howel Hall で行われます。前回参加された方は、今回もぜひご参加ください。

—3月1日は灰の水曜日で、レントの季節がもうじき始まります。ひとりひとりが主にあって、悔い改めの心を持ち、祈りつつ歩めますように。



# 週報

第3615号  
2017年 2月26日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200 Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)

---

発行: 2017年2月22日 ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話: 773-728-4200 Ext. 26